

比較文学の地平と大学人の将来

2023年12月26日(火)、13:00~17:00

ハイブリッド開催 (対面・ZOOM)

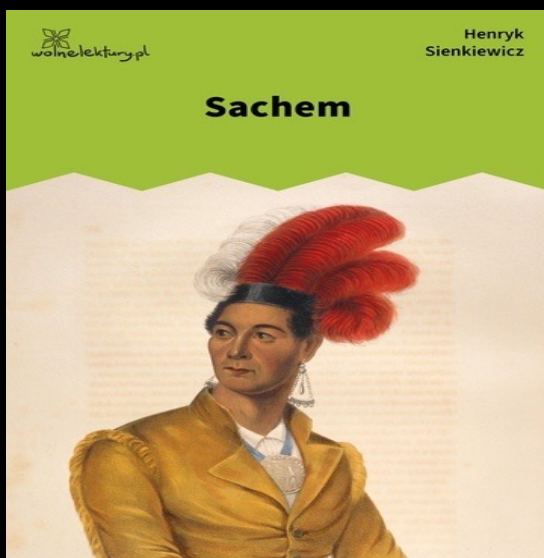
会場：中庭会議室

ZOOMミーティングID：928 8611 5381

パスワード：340903

聴講自由・事前申込不要

問い合わせ：比較文学研究室(内線2168)



2023年12月26日(火) 13:00~17:00 中庭会議室
ID : 928 8611 5381 パスワード 340903

阪大比較文学会シンポジウム —比較文学の地平と大学人の将来—

13:00~13:10 開会の辞 鈴木暁世 (大阪大学大学院人文学研究科准教授)

第一部 研究発表

13:10~13:35 飯村言葉(大阪大学大学院)
「日本の百貨店表象における外商制度」

13:35~14:00 堀之内美歩(大阪大学大学院)
「最果タビによるおとぎ話の会話体翻案と登場人物のbot化」

14:00~14:25 下村杏奈(大阪大学大学院)
「演技と復習—ヘンリク・シェンキエヴィチの『サシエム』とジョゼフ・コ
ンラッドの『カレイン』の比較分析—」

14:25~14:40 講評 波瀾剛(九州大学大学院比較社会文化研究院教授)

14:40~14:50 休憩

第二部 講演

14:50~15:20 橋本順光 (大阪大学大学院人文学研究科教授)
「蓮と白鳥 グルチャラン・シンの陶芸と朝鮮半島への旅(1920)」

15:20~15:30 質疑応答

15:30~16:30 波瀾剛(九州大学大学院比較社会文化研究院教授)
「大学人の将来、研究者の未来：Researching, Teaching, and Professing
Literature」

16:30~16:50 質疑応答

16:50~17:00 閉会の辞 橋本順光 (大阪大学大学院人文学研究科教授)

総合司会 西元まり(大阪大学大学院)

主催：大阪大学大学院テキスト環境論研究室・阪大比較文学会

共催：JSPS科研費(18K00314)